広報 にしあいづ

10

2024
No.792



SNSで情報発信中

Facebook　LINE

登録お願いします！

西会津 NISHIAIZU TOWN 70th Anniversary

もくじ　ーContentsー

P2　特集　西会津町誕生70周年特集
西会津町制70周年の歩み

P6　まちの話題
野沢・尾野本地区敬老会、百歳賀寿、
西高生がミネラル野菜を使って商品開発へ　ほか



70年の歴史とともに　未来へ歩み続ける

西会津町70年の歩み　前編

令和6年7月1日、西会津町は町制施行70周年を迎えました。これを記念し、今号から令和7年1月号まで「西会津町誕生70周年特集」を掲載します。
今回は、西会津町70年の歩み前編として西会津町が誕生した昭和29年（1954）から平成25年（2013）を懐かしい写真とともに振り返ります。

1954▶2013

1954 昭和29年
- 7月　○西会津町誕生
- 8月　○初代町長に渡部晴松氏

1956 昭和31年
- 7月　○黒沢大水害　死者6人、行方不明3人、被災者988人

1957 昭和32年
- 3月　○下小屋町営住宅12戸完成　○群岡診療所完成　○野沢保育所完成



▲完成当時の群岡診療所

1958 昭和33年
- 5月　○滝坂で地すべりが発生し、住居移転が決定

1960 昭和35年
- 10月　○軽沢地区を編入

1962 昭和37年
- 3月　○野沢劇場街大火災　死者1人、被災世帯20戸
- 5月　○下野尻大火　被災世帯29戸

1964 昭和39年
- 4月　○県立西会津高校誕生　生徒数165人
- 6月　○新潟地震　震度5
- 7月　○西会津中学校落成


西会津高校校舎▶

1967 昭和42年
- 8月　○集中豪雨により奥川極入などで大水害　被害総額約8億円

1969 昭和44年
- 1月　○生活改善センター（現：公民館）オープン

1972 昭和47年
- 4月　○喜多方広域消防西会津分署開署
- 　　○誘致企業第1号の川崎自動車工業㈱西会津工場操業開始
- 11月　○奥川克雪管理センターが完成し、奥川支所を移転

1976 昭和51年
- 5月　○広域水道工事完成（7月から給水開始）

1979 昭和54年
- 4月　○保健センターオープン（県内第1号）　○現：新郷連絡所オープン
- 10月　○国道49号西会津バイパス開通



▲西会津バイパスの開通により人やものの行き来が盛んになりました

1982 昭和57年
- 6月　○さゆり公園多目的広場完成

1985 昭和60年
- 12月　○さゆり公園体育館完成

1986 昭和61年
- 11月　○第1回西会津の文化と産業祭開催

1988 昭和63年
- 12月　○老人保健施設「憩の森」開所　○西会津診療所開所

1989 平成元年
- 5月　○さゆり公園総合オープン記念式典
- 11月　○第1回桐ゲタマラソン大会



▲桐ゲタが特産の西会津町ならではのイベント。第1回桐ゲタマラソンには多くの人が参加しました

1991 平成3年
- 2月　○第1回雪国まつり開催
- 5月　○さゆり公園野球場整備が完了
- 10月　○㈱西会津町振興公社設立

1992 平成4年
- 8月　○特別養護老人ホーム「さゆりの園」開所

1993 平成5年
- 3月　○屋内プール・温泉リハビリプール完成
- 4月　○健康の町宣言　○百歳への挑戦・町民大会開催
- 12月　○温泉健康保養センター「ロータスイン」オープン

1994 平成6年
- 6月　○在宅介護支援センター開所
- 8月　○沖縄県大宜味村児童生徒との交流事業開始

1995 平成7年
- 8月　○集中豪雨により町内に大きな被害　被害総額12億円以上
- 10月　○ふくしま国体ゲートボール競技開催

1996 平成8年
- 10月　○西会津消防署開署

2008
平成 20 年
- 3 月　○雇用促進住宅西会津宿舎を取得（4 月から入居開始）
- 4 月　○西会津町まちづくり基本条例施行
- ○ケーブルテレビ自主放送さゆりチャンネルのデジタル放送・データ放送を開始
- 11 月　○健康な土づくり 10 周年記念大会開催

2009
平成 21 年
- 1 月　○テレワークセンター 2 号館開設
- 3 月　○林道青坂芝倉線全線開通
- 4 月　○町消防支援隊が隊員 242 人で発足
- 5 月　○町消防団が福島民報社表彰・民報金ばれん受賞
- 11 月　○萱本出身の新田正夫さんに名誉町民顕彰を贈呈



▲町消防団が県下一の消防団となりました

2010
平成 22 年
- 3 月　○町イメージキャラクター「こゆりちゃん」誕生
- 10 月　○第 1 回小学校統合推進委員会開催
- 12 月　○大雪により国道 49 号で車両約 300 台が立ち往生し、自衛隊が災害派遣出動

2011
平成 23 年
- 3 月　○東日本大震災が発生し、町では震災 5 弱を観測
- 7 月　○新潟・福島豪雨により町内に被害発生
- 11 月　○野沢、尾野本、群岡、新郷、奥川各小学校で閉校記念式典

2012
平成 24 年
- 4 月　○デマンドバス運行開始
- ○西会津小学校開校式（全校児童 272 人）
- ○横浜市鶴見区と友好交流協定締結
- 7 月　○第 50 回いいでの集い開催

2013
平成 25 年
- 10 月　○旧奥川小学校を改修した「奥川みらい交流館」がオープン
- ○野沢駅開業 100 周年祝賀セレモニー開催

※平成 26 年以降は次号に掲載



町内の小学校 5 校を統合した新生・西会津小学校の開校式が平成 24 年 4 月 6 日に行われました。
式では、児童代表らに校旗が手渡され、新しい歴史の幕が開きました。（広報にしあいづ平成 24 年 5 月号より）

大正 2 年 8 月に岩越線（現：磐越西線）の山都―野沢間の延伸開業により野沢駅が新設され、平成 25 年、開業から 100 年が経ちました。（広報にしあいづ平成 25 年 11 月号より）


▲野沢駅開業当時の駅前









写真左から統合西会津中学校開校／町民バス運行開始／沖縄県平良市（現：宮古島市）と友好都市締結

1997
平成 9 年
- 2 月　○県内初ケーブルテレビ開局
- 10 月　○磐越道西会津～津川ＩＣが開通

1998
平成 10 年
- 3 月　○屋内ゲートボール場「すぱーく西会津」完成
- 4 月　○さゆりが丘ニュータウン分譲開始
- 8 月　○集中豪雨により町内に約 10 億円の被害
- 9 月　○奥川ミニライスセンター完成

1999
平成 11 年
- 2 月　○健康な土づくり講演・指導会開催
- 3 月　○国道 400 号下谷バイパスと県道大久保野沢停車場線開通
- 4 月　○シルバー人材センター業務開始
- 7 月　○県内初の複合型スポーツクラブ「西会津スポーツクラブ」結成

2000
平成 12 年
- 4 月　○さゆりオートパーク完成オープン　○介護センター完成
- 6 月　○下水道野沢浄化センター通水式
- 8 月　○にしあいづ健康ミネラル野菜普及会発足

2001
平成 13 年
- 6 月　○西林大橋開通
- 10 月　○新郷中・奥川中閉校記念式典
- 11 月　○西会津中・群岡中閉校記念式典

2002
平成 14 年
- 4 月　○町民バス運行開始　○統合西会津中学校開校
- ○デイサービスセンター・生活支援ハウス・高齢者グループホーム完成
- 7 月　○台風 6・7 号により町内に大きな被害発生

2003
平成 15 年
- 7 月　○ボランティア活動サポートセンター設立
- 12 月　○ケーブルテレビインターネットサービス開始

2004
平成 16 年
- 9 月　○道の駅にしあいづ開所・交流物産館よりっせグランドオープン
- ○町議会で「西会津町自立宣言」を全会一致で可決
- ○西会津国際芸術村開村

2005
平成 17 年
- 6 月　○委員 50 人で組織する西会津町まちづくり委員会が発足
- 7 月　○沖縄県平良市（現宮古島市）と友好都市締結

2006
平成 18 年
- 3 月　○テレワークセンター完成
- 4 月　○にしあいづ地域包括支援センター開設

2007
平成 19 年
- 7 月　○西会津高校活性化対策協議会設置

江川キヨ子さん 百歳賀寿贈呈式



8月24日、江川キヨ子さん（屋敷）の満100歳を祝う百歳賀寿贈呈式が行われ、親族が見守るなか、同日に満100歳を迎えた江川さんへ、薄町長と町老人クラブ連合会の二瓶穣（みのる）会長より賀寿と記念品が贈られました。親族を代表して長男の直治さんが謝辞を述べ、四女の斉野智子さんより花束が贈られました。

江川さんは、長生きの秘訣について周りの人と関わり、ゲートボールや輪投げを地域の人たちと一緒にやることだと話していました。

西会津産米振興に向けた意見交換会



8月22日、西会津産米振興に向けた意見交換会が町役場で開催され、町内の米生産者と関係団体の代表者などが集まりました。

はじめに、町担当職員から町内産米を取り巻く現況について説明があり、その後グループごとに意見交換が行われました。意見交換では、西会津産米振興についての課題やアイデアを自由に話し合い、共有することで互いに良い刺激となっていたようでした。

西高生がミネラル野菜を使って商品開発へ



8月20日、西会津高校の西高魅力発信隊の生徒たちが坂井農園（奥川）を訪れ、坂井康司さんから就農までの経緯と農業の大切さについての話を聞き、その後トマトの収穫を体験しました。

西高魅力発信隊は今年度「使って・食べて・繋がって　地域元気プロジェクト」をスローガンに活動しています。『ふくしまの未来を創るFukurum基金』を利用して西会津町特産のミネラル野菜を活用した商品の開発に取り組んでいます。



▲代表で謝辞を述べた鈴木洋さん

令和６年度　敬老会

9月7日に群岡・新郷地区、8日に野沢・尾野本地区、15日に奥川地区の敬老会が開かれ、長年にわたり町や社会の発展に尽くした皆さんの長寿を祝いました。今年の敬老会には、75歳以上の1,681人が招待され、いずれの会場でも出席者同士、元気な顔を合わせ話に花を咲かせていました。

野沢・尾野本地区の式典では、薄町長があいさつした後、喜寿の代表・目黒一さん（牛尾）と、米寿の代表・目黒トシ子さん（4町内）に記念品を贈りました。続いて、秦貞継町議会副議長が祝辞を述べた後、式典の最後には、招待者を代表して鈴木洋さん（軽沢）が謝辞を述べました。

【写真】①・④・⑤思い思いに敬老会を楽しむ出席者の皆さん／②桃山会による歌／③こゆりこども園「ひまわり組」園児によるお遊戯／⑥西会津大山さゆり太鼓による太鼓演奏／⑦万歳三唱









来年の敬老会も元気にお会いしましょう！









大宜味村児童との絆深める

第28回 沖縄夏季交流

今年で28回目を迎えた沖縄県大宜味村との夏季交流事業は、7月26日から29日までの3泊4日の日程で開催し、小学6年生の希望者28人が参加しました。

町役場前で行われた出発式では、長谷川琥春（こはる）さんが「沖縄の文化や自然について学びたいです」と抱負を述べました。その後、10時間をかけて大宜味村に到着し、宮城政信教育長をはじめ大宜味村の児童や関係者の皆さんの歓迎を受けました。歓迎式では、町の参加児童を代表し齋藤大我（たいが）さんが「文化や歴史についての事前学習を通して、方言の違いに驚きました。その中で生活習慣の違いについても実際に見てみたいと思いました。皆さんと友達になることを楽しみにしています」とあいさつしました。歓迎式終了後、夕食を取り、大宜味村と西会津町に関するクイズで親睦を図りました。

2日目の午前は「ヤンバルクイナ生態展示学習施設クイナの森」を訪れました。ヤンバルクイナが生息する環境を再現したブースで、ヤンバルクイナを見学し、沖縄の自然環境について説明を受けました。

昼食後は海岸に移動し、海水浴を行いました。インストラクターの指導のもと、バナナボートとシーカヤックでマリン体験を満喫しました。その後、大宜味村児童と協力し、班ごとにテントを立てて、この日の寝床となるダンボールハウスを作りました。

夕食は大宜味村の保護者、関係者の協力によるバーベキューを楽しみ、途中に披露された大宜味村青年団による「エイサー」では一緒に踊るなど、自然や文化を学び、絆を深めた一日となりました。

3日目のお別れ式では、渡部ゆりさんが「夏休みの前から楽しみにしていたのに、あっという間に時間が過ぎてゆき、寂しいです。きれいな海や大自然がとても素敵で、一緒に泳いだり食事をしたり、仲良くなれたことが一番の思い出です。冬に西会津町で会えることが今から楽しみです」と感想を述べ、再会を誓いました。

大宜味村を後にした交流団は、美ら海水族館を見学し、宿泊する那覇市に移動して、国際通りを散策しました。

最終日は平和について学習するため、南部戦跡を巡りました。平和祈念公園では「平和の礎」に刻まれた全戦没者の氏名について説明を受け、「平和の火」についても学習しました。

その後向かった「ひめゆりの塔」では慰霊碑に献花を行い、「ひめゆり平和祈念資料館」では学徒の遺留品や写真、生存者の証言映像から戦争の悲惨さや平和の大切さを感じていました。

参加した児童の皆さんは、異なる文化に対する理解や平和の大切さを学び、大きく成長したようです。









西中町民図書館　新刊オススメ本



『慢性疲労を治す本』
［堀田 修 監修］
あさ出版

いつまでも消えないつらい疲れやだるさ、その正体は、「慢性疲労」かもしれません。「慢性疲労」は、脳の炎症、迷走神経の炎症がもたらす病気で、適切に対応すれば改善する可能性があるそうです。

本書では、多くの慢性疲労の人たちを治療してきた名医が、治療法や気軽にできる鼻うがい、口の体操などを分かりやすく解説しています。みなさんも、まずはこの本で「慢性疲労」にあてはまるかどうか確認してみてください。



『図解でよくわかる菌ちゃん農法』
［吉田 俊道 著］
家の光協会

『惣十郎浮世始末』
［木内 昇 著］
中央公論新社



芥川賞受賞



『サンショウウオの四十九日』
［朝比奈 秋 著］
新潮社

直木賞受賞



『ツミデミック』
［一穂 ミチ 著］
光文社

町民ギャラリー　フォトクラブどんぐり

今月は、フォトクラブどんぐり・須藤　正二さん（原）の作品です。



作品紹介

これは、阿賀川の銚子の口（滝坂地内）です。

行くたびに思うんですが、上流の川いっぱいに流れている水がここへ来て、どこへ行ってしまうんでしょう。岩の中はどうなっているんだろう？と不思議に思っています。



西会津ふるさとまつり
文化祭部門　作品募集

申込：9.10-10.18
展示：10.31-11.03

◆応募対象者

町民の人ならどなたでも

◆出展規格

○絵画＝水彩、油彩、水墨画など100号以下の作品。（1人2点以内）
○書道＝半紙以上で額装または軸装とし、読み下し文をつける。（1人2点以内）
○写真＝四つ切以上で、額入りまたはパネル仕立てとする。（1人2点以内）
○俳句／川柳＝色紙、短冊、普通用紙に楷書で記入する。（1人3点以内）
○手芸・陶芸・その他＝（1人2点以内）
※作品には氏名、題名を明記してください。
※吊り下げる作品は、金具とヒモを必ずつけてください。

◆搬入・搬出　※時間厳守でお願いします。

作品は各自、展示会場へ直接搬入・搬出願います。

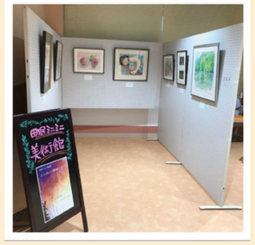
○搬入日時：10月30日（水）
午後1時30分～4時
○搬出日時：11月3日（日）
午後3時30分～4時30分

◆申込方法

町公民館、新郷連絡所、奥川支所にある出展票に必要事項を記入の上、10月18日（金）までに申し込んでください。

【申込・問い合わせ先】

町公民館　☎45―3244



町民ミニミニ美術館

小作品展　「こころひくもの」

第2回目の作品展示は「にしあいづ絵画クラブ」です。役場町民ホールにて9月下旬まで展示しておりますので、ぜひご覧ください。

「公民館だより」に関するお問い合わせは、生涯学習課・生涯学習係まで（☎45―3244）

県 祝 準優勝！ 消防操法大会



第45回福島県消防操法大会が8月25日に県消防学校で開催され、西会津町消防団が10年ぶりに県消防協会喜多方支部の代表として出場し、栄えある準優勝を飾りました。西会津町消防団では初めて、喜多方支部としても34年ぶりの快挙を達成しました。また、指揮者の佐藤健吾選手が優秀選手賞に選ばれました。

出場種目は小型ポンプ操法の部で、各分団から選手を選抜し、西会津消防署員の指導のもと、5月末から約3カ月間の訓練を積み大会に臨みました。

県内から13の強豪チームが参加する中、西会津町消防団は事前抽選の結果、1番目の競技順でしたが、開会式での佐藤健吾選手の選手宣誓で流れを作り、渡部晋団長をはじめとする消防団の幹部や家族、応援に駆け付けた人たちの声援を受けながら選手たちは会場の雰囲気に臆することなく、練習を重ねた機敏な動作で操法を披露しました。







〈出場選手紹介〉

指揮者	佐藤	健吾
1番員	大沼	健太
2番員	片岡光太郎	
3番員	青津	泰平
補助員	佐藤	勝人
補助者	物江	和磨
補助者	荻原	謙介

上野尻		
1町内		
塩		
縄沢		
下小島		
下小島		
中町		



9月4日、町役場を訪れた選手の皆さんは、薄町長に大会結果を報告しました。薄町長は「本当におめでとうございます。皆さんの活躍をきっかけに、地域の若い人たちが消防団に加入してくれたら嬉しいです」と祝福の言葉を贈りました。



▲選手を代表し、選手宣誓をする佐藤健吾選手

11月2日、3日は 西会津ふるさとまつり

第39回を数える秋の恒例イベント「西会津ふるさとまつり」が11月2日（土）、3日（日）に開催されます。

ステージイベントでは、恒例の「桐ゲタ投げ全国大会」、「にしあいづ紅葉ウォーク」をはじめ、よしもとお笑い芸人やアーティストによる笑いあり、音楽ありのライブステージ「さゆりラフ&ミュージックフェス」を今年も開催するほか、イベントの最後には、誰でも参加可能で、西会津町の特産品があたる「西会津ふるさとじゃんけん大会」を初開催します。

ステージ以外では、子ども達に人気の「Nトレジャーハント」や「ミニSL」、福島レッドホープスによる野球教室を開催するほか、西会津初となるボード（板）に乗って、パドルで漕ぐウォーターアクティビティ「SUP体験会」を開催予定です。

また、新そばなどの西会津の秋の味覚が味わえる「農家レストラン」、味噌ラーメンやスイーツなどの出店コーナー、キッチンカーなど町内外からさまざまなグルメが軒を連ねます。

西会津ふるさとまつりにぜひご来場ください。

〈問い合わせ先〉
町ふるさと振興推進委員会事務局
（商工観光課内）
☎45―2213
FAX45―2241

▲ふるさとまつりホームページ



◆主なイベントスケジュール

※詳細は配布されるチラシをご覧ください。

11月2日（土）

9時～	オープニングセレモニー
10時～	民俗芸能と民謡の集い
11時～	さゆりラフ&ミュージックフェス 2024

※両日開催 10時～
Nートレジャーハント、ミニSL

10月31日(木)から
体育館展示がプレオープン！



11月3日（日）

9時～	・にしあいづ紅葉ウォーク 参加者募集 共催：第15回いきいき健康ウォークin西会津
	【ムラサキスポーツプレゼンツ】 ・SUP体験会 New！ 参加者募集
10時～	・丞神デナーSHOW！！（1回目） ・福島レッドホープス野球教室
11時～	第25回桐ゲタ投げ全国大会
13時～	丞神デナーSHOW！！（2回目）
13時40分～	福島レッドホープスファン感謝祭
14時40分～	西会津ふるさとじゃんけん大会 New！



SUP（サップ）





お気軽に相談ください
秋の行政相談・人権相談を行います



９月１日から 10 月 31 日は「行政相談月間」です。町では、特設行政相談所を開設し、役所や特殊法人などの仕事に対する苦情や意見、要望を受け付け、解決のお手伝いをします。

また、併せて特設人権相談所を開設し、人権問題に関する相談などに応じます。相談は無料で秘密は堅く守られます。気軽に相談ください。

◆行政相談委員　田崎宗作さん（小杉山）
◆人権擁護委員　長澤文子さん（芝草）
貝沼利則さん（呼賀）
長谷川成博さん（梨平）

◎ 10 月 15 日（火）
午前９時 30 分～正午　保健センター
午後１時～３時 30 分　町役場（第１委員会室）
◎ 10 月 16 日（水）
午前９時 30 分～正午　新郷連絡所
午後１時～３時 30 分　奥川みらい交流館

〈問い合わせ先〉
（行政相談）総務課 行政管理係　☎４５―２２１１
（人権相談）町民税務課 町民生活係　☎４５―２２１５

町長コラム　その43

先月から嬉しいことが続いている。一つ目に、念願だった「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が、去る８月８日に町制施行70周年記念事業として実施できたことである。当日は天候にも恵まれ、４２０人が参加し、ＮＨＫラジオで全国に生放送された。

二つ目は、８月25日に開催された第45回福島県消防操法大会（小型ポンプ）に、消防協会喜多方支部代表として出場した西会津町消防団が、県内から出場した13チームの中で準優勝の快挙を成し遂げたことである。喜多方支部としては34年振りであり、また、選手宣誓した佐藤健吾団員が、指揮者の優秀選手に選ばれた。町消防団員の評価を高めてくれたことに最大の敬意を表したい。この快挙は、今、消防団員の確保が難しい状況の中で、次代を担う消防団に明るい光を投じることと信じている。

三つ目には、西会津産米の販路拡大のために町が進めている、スマホのアプリで農家と消費者をつなぎ、農家が安心して米づくりができる「石高プロジェクト事業」が、先日、日本農業新聞に掲載されたことである。

さらには、町の鳥獣被害対策の取組みが全国紙の農業共済新聞に掲載された。これは地域住民主体の害獣対策として組織した「有害鳥獣対策隊」の紹介である。深刻な鳥獣被害対策の新たな取組みで期待している。

四つ目に、奥川地域づくり協議会の活動内容が、福島民報新聞に掲載されたことである。人口減少と高齢化が進む奥川地域を、未来に持続するための地域づくりに取り組んでいる。様々な地域課題に対し、住民と地域外との繋がりと協働により関係人口を増加させる、未来型「結」の実現により、奥川地域の活性化と運営を目指す事業を展開している。

町や地域の取組みが全国に紹介されることは嬉しい限りであるが、今後も、協働によるまちづくりを推進し、「日本の田舎、西会津町。」の魅力を発信していきたい。

西会津町長　薄友喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています
紙面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくはお問い合わせください。
◆大きさ　１枠当たり縦４．０㎝×横８．５㎝
◆掲載料　１枠当たり５，０００円／月
〈問い合わせ先〉
企画情報課　広報広聴係　☎４５―４５３６

ご寄付ありがとうございます
桃山会がチャリティーショーの益金を寄付



８月 26 日、桃山会普門連合会の生江克志さん（写真中央）と青木照夫さん（写真右）が町役場を訪れ、７月 21 日に開催した桃山会民謡カラオケチャリティーショーの益金の一部を寄付しました。

町社会福祉協議会の会長を務める薄町長へ手渡された寄付金は、町の社会福祉の充実と向上に役立てられます。

企業版ふるさと納税ご寄付ありがとうございます
株式会社あいづダストセンター



９月２日、株式会社あいづダストセンター（会津若松市）の藤田浩二代表取締役社長が町役場を訪れ、企業版ふるさと納税を活用した寄付を行いました。

同社は、福島県会津地方を拠点に産業廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分を一貫して行っている企業です。また、廃棄物のリサイクルにも積極的に力を入れ、地域社会に貢献しています。

生活課題の解決を支援
民生委員・児童委員委嘱状伝達式



９月３日、民生委員・児童委員委嘱状伝達式が町役場で行われ、鈴木賢治さん（山口）へ薄町長と町民生児童委員協議会伊藤哲雄会長より委嘱状が伝達されました。

鈴木さんは、欠員となっていた牛尾・山口・出ヶ原地区を担当します。民生児童委員は、厚生労働大臣により委嘱され、任期は令和７年 11 月 30 日までです。

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

お知らせ
INFORMATION

ケーブルテレビ さゆりチャンネル 10月の放送案内

◆特別版
野沢祭礼、こども園運動会を特別版で放送します。

◆お知らせ
インターネット接続に関してはケーブルテレビをご利用ください！

〈問い合わせ先〉
（一社）西会津ケーブルネット ☎45―4461



クマの誘因物管理のお願い

これからの時期は、冬眠するためのエサを求めて人里周辺にクマが出没する可能性が高まります。クマのエサとなる米ぬかや生ゴミなどは屋外に放置しないでください。また、屋内に保管してある米ぬかなどを狙って、屋内に進入する事例も発生していますので、玄関や窓の戸締りを忘れないようにしましょう。

〈問い合わせ先〉
農林振興課　林政係 ☎45―4531

野生キノコなどの出荷における注意

マイタケ、ナメコ、ムキタケ、クリタケを除く野生キノコは全て出荷制限品目に指定されており、出荷できません。昨今、フリマアプリなどを介した個人売買による山菜・野生キノコの出荷も確認されているため、利用する際は十分に注意してください。

〈問い合わせ先〉
農林振興課　林政係 ☎45―4531



秋の農作業事故に注意しましょう

秋の農作物の収穫時期を迎えています。農作業中の事故は、農作業機械を使用する際の不注意や、操作の誤りが原因で発生しています。

ゆとりある計画的な作業を心掛け、事故防止に努めましょう。

◆次の点に注意しましょう
○安全確認を行い、誤操作を起こさないよう注意を払い作業する
○ほ場への進入、脱出時、畦越え時は特に注意する
○道路を走行する際は安全な速度で移動する　など

〈問い合わせ先〉
農林振興課　農政係 ☎45―4531

農林水産物緊急時モニタリング事業を実施します

県では、野生キノコの出荷制限解除に向けた取り組みの一環として、次により町内で検体の探索と採取を計画しています。

期間中は県から委託を受けた業者が山に入り、野生キノコを探索、採取しますので、ご理解とご協力をお願いします。

◆採取予定期間
12月まで

◆対象品目
ナラタケ、ヒラタケ、ブナハリタケ

◆採取量
1検体当たり350ミリグラムから1000ミリグラム程度を町内全域から満遍なく採取。

〈問い合わせ先〉
県会津農林事務所　森林林業部　林業課 ☎0241―24―5734
農林振興課　林政係 ☎45―4531

運転免許証の自主返納を支援します

町では、車の運転に不安のある高齢者の運転免許証の自主返納を促進し、高齢運転者による交通事故の減少を図るため、運転免許証自主返納支援事業を実施しています。

◆対象者
運転経歴証明書が発行された65歳以上の人
※運転経歴証明書は警察署で交付申請手続きを行っています。運転免許の更新をせず失効した人も、運転経歴証明書が発行できます。

◆支援内容
町民バス回数券・タクシー利用券・町共通商品券の中から3万円相当。

支援を受けようとする場合は、左記まで問い合わせください。



〈問い合わせ先〉
町民税務課　町民生活係 ☎45―2215

国民健康保険税の軽減について

◆倒産や解雇、雇い止めなどによる離職（非自発的失業者）に対する軽減
倒産や解雇などやむを得ない理由で離職された人は、申請により国保税が軽減される場合があります。

◆対象者
○離職日時点で65歳未満の人
○雇用保険の失業等給付を受ける人で、「雇用保険受給資格者証」の離職理由コードが、11、12、21、22、23、31、32、33、34のいずれかに該当する人

◆軽減の内容
国保税は前年度所得などを基に算定されますが、軽減に該当した場合は、離職者の前年度給与所得を3割に減額した額と見なして算定します。

◆軽減期間
離職した翌日から翌年度末まで

※なお、介護保険制度（福祉介護課☎45―2214）や、後期高齢者医療制度（健康増進課☎45―4532）も同様の減免制度があります。詳しくは各担当まで問い合わせください。

〈申請・問い合わせ先〉
町民税務課　税務係 ☎45―2212

国保の手続きは済んでいますか？

職場の健康保険に加入または脱退した時は、14日以内に国保の変更手続きを行ってください。手続きは同世帯の家族でも可能です。

◆手続きが遅れると…
国保税が請求され続けたり、一度に納める税額が高額になる場合があります。また、国保の資格喪失後に誤って国保の保険証で医療機関を受診した場合、国保が負担した医療費を返還する必要が生じる可能性があります。

〈問い合わせ先〉
健康増進課　国保係 ☎45―4532

不正軽油撲滅強化月間

県では、毎年10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体と協力して、不正軽油の排除に取り組んでいます。

軽油に課税される軽油取引税を脱税する目的で、軽油に灯油や重油を混ぜるなどして製造される燃料、いわゆる「不正軽油」が正常な軽油と偽って販売・使用されている事例があります。

「不正軽油を作らない・売らない・買わない・使わない」
不正軽油の防止・撲滅には、県民の皆さんの協力と情報提供が欠かせません。不正軽油の情報提供については、左記まで連絡ください。

〈連絡・問い合わせ先〉
不正軽油ホットライン（県庁税務課）☎024―521―7205
会津地方振興局県税部 ☎0242―29―5264

建物を取り壊したときは届出が必要です

固定資産税は、1月1日現在で登録されている課税台帳に基づき課税されますので、建物を取り壊したときには「家屋滅失申告書」の提出が必要となります。

この申告書を提出しないと、建物がなくなっても税金が課税されますので、必ず提出してください。

なお、次に該当する場合も申告書の提出をお願いします。

◎土地や建物の所有者を変更した場合
◎土地や建物の所有者の住所が変わった場合

※なお、法務局にて相続登記や所有者事項の変更登記など登記を行った場合には、届出は不要です。

〈問い合わせ先〉
町民税務課　税務係 ☎45―2212

農地の貸し借りは農地バンクへ

農業経営基盤強化促進法の改正により、令和7年4月から農地の貸借は「地域計画」に基づいた農地中間管理機構（農地バンク）を介した貸借へ移行します。

◎令和7年4月以降
または地域計画が策定された地域
・農地バンクによる農地の貸借
※このほか農地法に基づく貸借もあります。



〈問い合わせ先〉
農林振興課　農政係 ☎45―4531
農地中間管理機構
喜多方推進拠点 ☎080―3754―3070

3R（スリーアール）推進月間

国では、循環型社会の構築に向け3R（スリーアール）の取り組みを推進しており、10月はその推進月間です。

限りある資源を未来の世代につないでいくため、買い過ぎを控える、物を大切に使うなど、日々の生活を見直してみませんか。

◆3R（スリーアール）とは

リデュース
ごみの発生や資源の消費を減らすこと

リユース
物や資源を繰り返し使うこと

リサイクル
資源として再び使うこと

〈問い合わせ先〉
町民税務課　町民生活係
☎45―2215

里親入門講座のお知らせ

毎年10月は里親月間です。

里親についての理解を図り、里親になっていただく人を募集しています。会津児童相談所では、「里親入門講座」を次のとおり開催します。

◆日時と会場

〈第1回〉
10月17日（木）
午前10時～11時30分
会津若松市北会津支所

〈第2回〉
10月28日（月）
午前10時～11時30分
喜多方市役所ホール棟2階大会議室

◆申込期限
10月15日（火）

〈申込・問い合わせ先〉
会津児童相談所
☎0242―23―1400
メール
aidu.jisou@pref.fukushima.lg.jp

自慢の米を大募集！「第11回　西会津一うまい米コンテスト」

町では、西会津産米のおいしさを客観的に評価し、町内外への情報発信を通じ、町内産米の知名度向上と販売強化につなげるため、「西会津一うまい米コンテスト」を開催します。手塩にかけて育てた自慢の米をぜひ出品してください。

◆部門
◎コシヒカリ部門＝町内産コシヒカリ
◎こだわりの品種部門＝上記以外の町内産米

◆出品方法
参加申込書および出品する玄米500㌘（約3合）を10月15日（火）までに農林振興課へ提出

◆審査方法
◎一次審査
食味計と整粒検査で測定し、上位5点が二次審査へ進みます。5点に選ばれた場合、同じほ場の玄米5㌔を提供してもらいます。「こだわりの品種部門」は最上位に選ばれた米を奨励賞として二次審査は行いません。

◎二次審査
一次審査上位5点の米を審査員が実食し、最優秀賞1点、優秀賞4点を決定します。

◎表彰
入賞者は第39回西会津ふるさとまつり内で表彰されるほか、試食ブースを設けて西会津産米のPRを行います。

◆審査員の公募
今年度は、町制施行70周年記念事業として、二次審査の審査員（2人以内）に公募を予定しています。

〈申込・問い合わせ先〉
農林振興課　農政係　☎45―4531

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています
紙面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくはお問い合わせください。
◆大きさ　1枠当たり縦4.0㎝×横8.5㎝
◆掲載料　1枠当たり5,000円／月
〈問い合わせ先〉
企画情報課　広報広聴係　☎45―4536

10月から児童手当制度が変わります

児童手当法の一部改正により、10月分（12月支給）から支給対象年齢などが拡充されます。これに伴い、新たに受給資格が生じる人には申請書類を発送しています。内容を確認し該当する人は、期限内に手続きしてください。期限までに提出がない場合、支給が遅れ、受給できない期間が発生することがありますのでご注意ください。

	拡充前 9月分（10月支給まで）		拡充後 10月分（12月支給）から	
3歳未満	15,000円	所得制限のある人（特例給付）は5,000円	15,000円	第3子以降は30,000円
3歳～小学生	10,000円 第3子以降は15,000円		10,000円	
中学生	10,000円		10,000円	
高校生年代	なし		10,000円	
多子加算の算定対象	18歳の年度末まで（高校生年代）		22歳の年度末まで（大学生年代） ※進学・就職を問わず、子どもを養育している場合対象	
所得制限	あり		なし	
支給月	年3回（2、6、10月）		年6回（偶数月）	

◆新たに手続きが必要な人（対象者には書類発送済）
- 所得上限限度額以上の所得があるため、支給対象外となっている人
- 高校生年代の児童のみを養育している人
- 現在、児童手当を受給中で、算定児童に登録されていない高校生年代のこどもを養育している人
- 養育している18歳の年度末以降22歳の年度末までの大学生年代のこどもを含めると3人以上となる人

【提出期限及び提出先】**10月15日（火）まで**
西会津町子育て支援センターに提出してください。

◆手続きが不要な人
- 現在、児童手当を受給しており、制度改正後も支給額が変わらない人（※中学生以下の児童のみがいる人で、第3子増額を受ける人は除く）
- 現在、特例給付を受給している人
- 現在、児童手当を受給しており、高校生年代の児童を算定児童として登録されている人

提出期限を過ぎた場合は、12月支給に間に合わない場合があります。なお、令和7年3月31日までに申請しない場合は、拡充された児童手当を遡って受け取ることができません。申請を受付した月の翌月分からの支給となります。

※公務員の人は勤務先で手続きしてください。

対象となる人で申請書が届かない場合や制度の詳細については、町ホームページをご覧いただくか下記まで問い合わせください。

【問い合わせ先】　福祉介護課　子育て支援係
☎45―4332

“オレンジカフェいいで愛” in 奥川 開催のお知らせ

オレンジカフェいいで愛は、介護やもの忘れに関する悩み事の相談、情報交換など、カフェでの交流を通して、もの忘れとの付き合い方や仲間と出会える場です。

【日　時】　10月10日（木）　午前10時～
【会　場】　西会津国際芸術村
【参加費】　無料（飲み物・菓子付き）
【申込み】　参加希望の場合は事前予約が必要です。10月4日（金）までに地域包括支援センターに連絡ください。また、送迎が必要な場合も気軽に相談ください。

〈申込・問い合わせ先〉
にしあいづ地域包括支援センター　☎45―3327
福祉介護課　介護係　☎45―2214

西会津町給食センター 学校給食レシピ④



今回は、ミネラル野菜のじゃがいもをたっぷり使った「じゃが豚キムチ」のレシピを紹介します♪下記ＱＲコードからご覧ください。

じゃが豚キムチ

集落支援だより

皆さんこんにちは！
地域おこし協力隊集落支援担当の井上です。
今月は「やどりぎ案内」によるシャッターアート、奥川盆踊りなどについて紹介します。



地域おこし協力隊　集落支援担当
井上（いのうえ）　朋（とも）　隊員

やどりぎ案内による展示

8月1日から1ヵ月間、美大生を中心としたアートチームの「やどりぎ案内」が西会津国際芸術村と奥川地区中町集落の2ヵ所にて作品展「土地への宿り方」を開催しました。やどりぎ案内は、2021年から中町集落にて活動をはじめ、これまでにシャッターアートや屋号ワークショップ、草木染めをしてきました。その他に奥川での共同作業である人足にも参加し、地域の皆さんと積極的に交流をしています。

今回、中町集落ではアーティストの個人作品を集落内の各地に展示しました。また、「味処さかや」の横で新たなシャッターアートの公開制作も行われ、飯豊連峰を表現した鮮やかな作品が誕生しました。



地域の皆さんは、それらの展示を見て、やどりぎ案内とのエピソードを話し、「これはどういうことを表現しているのだろう」と興味を持って展示を見ていました。まだ作品を見たことがない人は、奥川に来て2つのシャッターアートを見ていただきたいなと思います。

そして、西会津国際芸術村では、これまでの活動のアーカイブが展示され、やどりぎ案内が行ってきた活動の軌跡が表現されており、奥川での思い出がよみがえるような作品展となりました。



武蔵野大学の学生が奥川盆踊りに参加！

8月14日、奥川みらい交流館で「ふるさと奥川盆踊り大会&ビアガーデン」が開催されました。



今回で、復活後15回目の盆踊り大会となり、今年は武蔵野大学の学生の皆さんが前日の準備と当日の運営のサポートに駆けつけてくださいました。当日は、やきとりやからあげ、かき氷などさまざまな屋台が出ており、とても賑やかで楽しい盆踊り大会となりました。

また、200組用意をしていた狐のお面もすべてなくなるほど、多くの人が参加し、最後には抽選会の開催もあり、最初から最後まで大盛り上がりの大会でした。

極入・大聖歓喜天祭礼

8月18日、奥川地区極入集落で、大聖歓喜天祭礼が行われました。大聖歓喜天は、「極入のお聖天様」として耶麻郡一帯から新潟県まで広く信仰されてきました。また、火盗両難を防ぎ、縁結びや安産などのご利益があるといわれています。また、極入集落は、今から300年ほど前に、歴学者・安藤有益が幽閉された地としても有名です。今回の祭礼では、地元の人をはじめ、福島大学の岩崎ゼミの皆さんも参加して、先生、学生の皆さんが極入の歴史に触れ、楽しんでいました。今後も長くこのようなイベントが続けられるようサポートできればと思います。



がん検診について考えよう

「がん」は2人に1人が生涯で1度はかかると推計され、誰でもなる可能性がある病気です。現在、がんの治療法は日々進歩しており早期発見すれば治る病気になってきています。定期的にがん検診を受けることが大切です！

がんは早い段階で発見することが重要です。そのためには、定期的にがん検診を受けることが大切です。がんを早期発見すれば治療にかかる時間や費用も少なくなります。

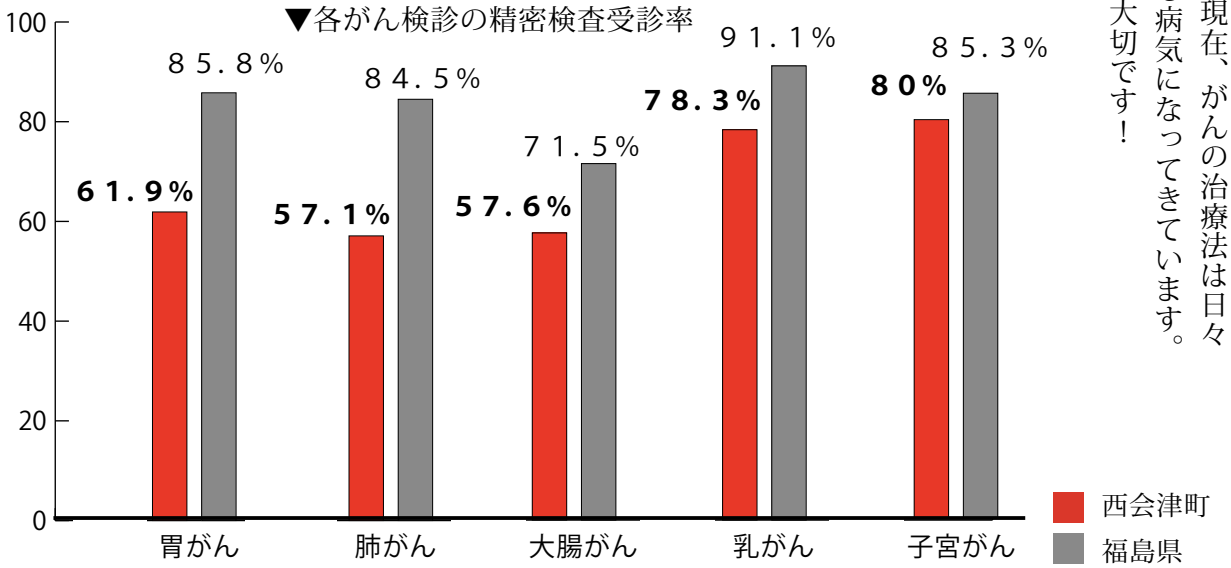
精密検査は受けるべき？

町の現状として、検診を受診する人の割合は他の市町村と比較して高い割合にありますが、精密検査を受診する人の割合が県の平均を下回っています。

早期のがんは、ほとんど自覚症状がなく、症状が出たころには進行している場合が多いです。

もし精密検査が必要と言われたら必ず医療機関を受診しましょう。

▼各がん検診の精密検査受診率



「がん治療サポート事業」とは

町では「がん治療サポート事業」として、がんになった人の就労や社会参加を応援しています。

◆購入費用の一部助成

・ウィッグ（上限2万円）

・乳房補正具（上限1万円）

福島県でも同様の事業を実施しており、併用することができます。詳細は問い合わせください。

▲福島県アピアランスケア助成事業

▲西会津町がん治療費サポート事業

〈問い合わせ先〉
健康増進課　健康支援係
☎45―4532



健康増進課 健康支援係
内山 豊夏美
副主任保健師

私の乳がん体験談　新田 由美子さん（下野尻）



私は2020年に「乳がん」と診断されました。毎年人間ドックを受診し、異常なしと言われていましたが、自分でしこりを見つけたのがきっかけで、手術を受け乳房を全摘しました。乳房を全摘すると、左右のバランスが崩れて肩こりや腰痛になりやすいと言われ、私は理容師をしているので立ち仕事だと特に体にひずみが出ると言われました。人生100年時代、これからのことを考え、お腹の脂肪組織を移植して乳房を再建することに決めました。手術も入院も大掛かりで大変でしたが、再建して5年経つ今は何の違和感もありません。

乳がんは10年生存率が約80％で早期発見が1番です。検診を受けるのも大切ですが、みなさん毎月1回は自分の胸にしこりが無いか確認してみてください。

「わたしと、あなたの“さすけねぇ輪っ！”」に関する問い合わせは、健康増進課・健康支援係まで（☎45-4532）

戸籍の窓口
（８月受付分）

■ まちの人口

	９月1日現在	（前月比）
人　口	５，４５２人	（−11人）
男	２，６６６人	（−５人）
女	２，７８６人	（−６人）
世　帯	２，４８０世帯	（−５世帯）

■ お悔やみ申し上げます

棚木　清子	(88)	正和	母	５町内
須藤　一男	(76)	忠	兄	安座
岩渕　弘	(89)	まゆみ	父	縄沢
山口　健	(89)	和也	父	高目
小林　豊作	(90)	豊	父	山浦
矢部　サト	(90)	哲也	母	松峯



▲令和６年度野沢・尾野本地区敬老会より西会津大山さゆり太鼓の演奏に合わせてリズムを取る参加者

Dream

聞いて！わたしの夢



［ 西会津中3年・駅伝部部長 ］

長谷沼（はせぬま）　伶皇（れお） さん

◆私の夢――

僕の将来の夢は、警察官になることです。なぜなら、姉が今、警察学校に通っているので、僕も姉みたいな警察官になりたいと思ったからです。

◆努力していること――

ランニングや筋トレをしたり、自分から大きな声であいさつをできるように心掛けています。

◆未来の自分に一言――

立派な警察官になっていますか。

Person

町民バトンタッチ

渡部（わたなべ）　寅雄（とらお） さん［黒沢］



◆趣味
食べ歩き

◆特技は？
カラオケ

◆熱中していることは？
山菜採り

◆自分を一言で表現すると？
マイペース

◆あなたのモットーは？
明るく生きる

◆これからやってみたいことは？
旅行

◆次の方を紹介してください
M・Sさん

とっておきの物は？

自宅で栽培している
原木なめこ



神田 春佳さん（9月号）からメッセージ



いつも頼りになります。
これからもよろしくお願いします！
カラオケは負けません。

Column

協力隊リレーコラム



児山（こやま）　武士（たけし） 隊員

東京都出身。休日も罠の見回りや痕跡を確認しています。後部ドアに「さすけねぇ輪」ステッカーを貼ったジムニーが目印です。





▲直近で確認されたニホンジカ

ニホンジカの増加について

おかげさまで、任期も残すところあとわずかとなりました。

有害鳥獣の捕獲ですが、今年は例年と比べて状況が変わってきています。ニホンジカの増加です。

昨年までは年間1、2頭程度の捕獲だったニホンジカが、今年は8月末時点で既に11頭も捕獲されています。このコラムを執筆時点で目立った被害はありませんが、シカによる水稲の被害は、田植え直後の苗の引き抜きや食害、収穫期頃の穂先食害があります。

ニホンジカの増加にはさまざまな要因が考えられますが、昨シーズンの暖冬もその一つです。

引き続き、環境整備・防御のバランスを考慮しつつ駆除活動に努めていきます。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その90（前編）

文：鈴木 圭介

井谷村のロマン　－水路の遺構－

井谷の下手の山腹には断続的に「ばんのじょうせき跡」という水路の遺構があります。この遺構は「落盤によって工事が中断した」と伝えられています。ですが、「いつ、だれが、何の目的で」工事をしようとしたのか分かっていない謎の水路です。「ばんのじょう」は人名で「万之丞」であろうと思われます。

落盤した向け山から推理すると水路の出口は、柴崎村の堤あたりであるから、水は「なぎの平」用水であったのでしょう。

柴崎村は五十数戸で、集落の大きさに比べ耕地が少なく、村人には、舟を上流に引くことを生業（なりわい）とする人も多かったと思います。台地（難儀（なんぎ）の平（たいら））を開墾して畑作や水田にして生活を豊かにすることは、だれしもが願うところでした。当初の水田は浅いくぼ地（溝）から出るわずかな水を利用したと考えられます。

そこで、井谷近くの山の谷をせき止めて建設した堤（沼）を水源とする稲作を始めたものの、水は十分ではありませんでした。そのため、さらに上流に２つの堤を設けたと考えられますが、「ばんのじょうせき」との前後関係はわかりません。

明治初期の記録にはこの「三ツ俣沢」の堤の修理を願い出た記録がいくつかありますが、それ以前の古い柴崎の資料は、大火で焼失して残っていません。

「ばんのじょうせき」の失敗が、第２、第３の堤工事へと発展したとも考えられますが、これも資料焼失で分かりません。



不思議なことは、水源地が井谷にあるのに、なぜ他村に水を引く工事が行なわれたのかということです。井谷の大平新田が開田されていれば、絶対に水は他村に譲らなかったはずです。あるいは井谷村そのものがなかったか、数軒の家のみであったころかもしれません。

しかし、「なぎの平の一部を井谷の水田（耕作権）と認める」との条件ならば井谷も譲歩したことでしょう。

（次号へつづく）

お詫びと訂正

９月号５ページの二十歳を祝う会出席者に記載の塚原健翔さんの出身自治区は、正しくは下野尻です。お詫びして訂正します。

今月の表紙

今月号から来年１月号までの４カ月間、「西会津町誕生70周年特集」を掲載します。また、特別企画として、今月号から12月号までの表紙を横に並べると１枚の写真になります。毎号、残していただけたら嬉しいです。

編集後記

西会津町誕生70周年という節目の年に広報紙に携われることをありがたく感じています。広報担当２年目でまだまだ未熟ですが、先輩方から引き継いだ広報のバトンを繋げられるように努めたいと思います。（伊藤）

にしあいづ
広報にしあいづ №792　令和６年10月号
発行／福島県西会津町　編集／企画情報課　TEL 0241-45-2211（代表）
ホームページ　https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/

PRINTED WITH SOY INK
この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。